



- Art Maison International Vol.24 特別編集号 ~平成美術~ 掲載者対象 -

A.M.S.C. スペイン本部 芸術家会員のご案内

A.M.S.C. SPAIN
INVESTIGACIÓN Y ARTE C/Santa María, 15 28014, Madrid, SPAIN TEL: +34 913 693 580

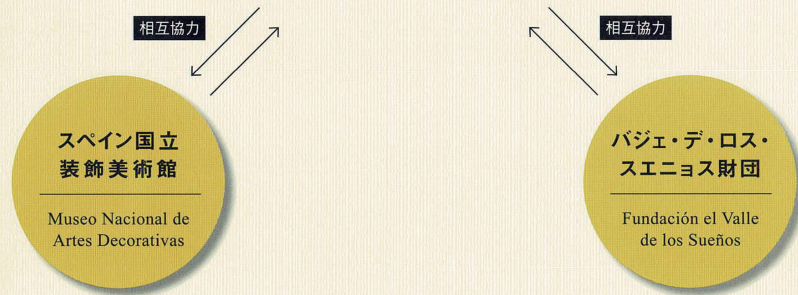
A.M.S.C. JAPAN / REIJINSHA Co.Ltd
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3 大阪駅前第3ビル 28F Tel: 06-6345-9950 Fax: 06-6345-9959

A.M.S.C. 芸術家会員制度

日本人芸術家の海外での更なる活躍を支援するため「A.M.S.C. スペイン本部芸術家会員」制度が2011年に創設されました。A.M.S.C. (国際美術評論家選考委員会)が監修する『Art Maison International Vol.24 特別編集号 ~平成美術~』で紹介する作家に選出され、掲載される方には、その会員証 (ゴールドカード) が贈られ、同時に「スペイン国立装飾美術館友好協会」および「バジェ・デ・ロス・スエニョス財団」両団体の会員としての権利も同時に付与されます。スペイン・マドリッドに本拠を置くこの2団体はA.M.S.C.と相互協力関係を樹立しており、今後も様々な協力体制で日本とスペインの芸術交流が育まれていきます。



A.M.S.C. スペイン本部芸術家会員 会員証



[会員規約]

- 第1項:会員とは、A.M.S.C. スペイン本部芸術家会員所定の方法にて申し込み、必要な手続きを経た後、A.M.S.C. スペイン本部がこれを承認した者である。
- 第2項:会員には、入会時にA.M.S.C. スペイン本部より会員証が発行される。
- 第3項:会員は、国際文化交流を視野に入れ、芸術性の向上に対する熱意を持って作品制作を励行する。
- 第4項:会員は、同時にスペイン国立装飾美術館友好協会会員となる。
- 第5項:会員は、同時にバジェ・デ・ロス・スエニョス財団会員となる。
- 第6項:A.M.S.C. スペイン本部は、入会者が以下の何れかの内容に該当する事がわかった場合、入会を拒否または承認の取り消しをする事がある。
- (1) 入会申し込みの際の申告事項に、虚偽の記載があった場合
 - (2) 公序良俗に反する行為を行った場合
 - (3) 会に迷惑を及ぼす言動があった場合
 - (4) 他の会員への誹謗中傷を行った場合
 - (5) 他の会員または第三者の財産、プライバシー等を侵害する行為を行った場合
 - (6) 法律に反する行為を行った場合
 - (7) その他、A.M.S.C. スペイン本部が総意によって会員不適当と判断した場合

掲載者はスペイン有数の国立美術館友好協会会員になります

スペイン国立装飾美術館

スペイン国内には、ブラド美術館をはじめとして国立美術館が14館あり、1912年に設立されたこの国立装飾美術館 (Museo Nacional de Artes Decorativas) はその一つです。マドリッド中心部のカーレモンタルバンに位置する建物は、国が指定する「歴史的な芸術的記念建造物」。貴族の邸宅として使用されていた往時の面影を残しており、中世から19世紀にかけてのスペイン建築や装飾の特徴を今に伝えています。日本との繋がりも深く、(日本スペイン交流400周年を記念して開かれた「支倉常長とその時代展」では日本文化からの影響を伝える展示がなされ、2013年6月に日本から皇太子殿下が訪れて鑑賞されました。)『Art Maison International Vol.24 特別編集号 ~平成美術~』掲載者は、この美術館の友好協会会員になる事ができるのです。

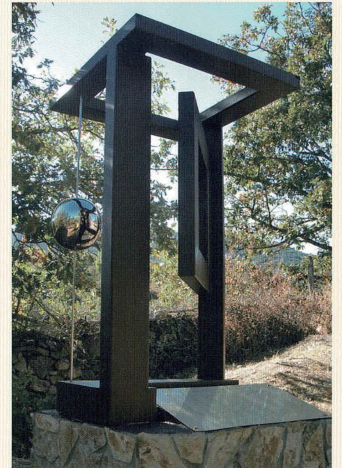
スペイン国立装飾美術館のコレクションは約1万点。興味深い伝承とともに長い時間をかけて熟成してきたかのような宝飾品や装飾品、歴史を感じさせるインテリアといった調度品の他、仏像などの東洋美術も数多く館内に保管されています。



掲載者はバジェ・デ・ロス・スエニョス財団会員になります

掲載者の名前が刻まれるマドリッドの記念碑

- 2010年10月、スペイン・マドリッド州プエブラ・デ・ラ・シエラ (Puebla de la Sierra) において、芸術保護と推進を目的にバジェ・デ・ロス・スエニョス財団 (Fundación el Valle de los Sueños / 和訳: 夢の谷財団) が設立されました。2011年には、同財団の副会長を務める現代美術アーティストのフェデリコ・エギア氏が日本と世界各国との国際的文化交流の推進を目的に、鉄彫刻で掲載者の名を銘板に刻んだA.M.S.C. 記念碑 (モニュメント) を制作。その後もアートの未来に向かう、言わば道標であるかのように毎年建立され、本年度の記念碑には日本の平成時代に優れた作品を遺した作家名を永遠に残す事を目的に、『Art Maison International Vol.24 特別編集号 ~平成美術~』の掲載者名が刻印されます。日本と海外諸国における芸術交流に貢献した日本の芸術家たちが生きた証として、その偉業と名前は永久的にマドリッドの地に遺され、後世に伝えられるのです。



プエブラ・デ・ラ・シエラ / Puebla de la Sierra

豊かな自然と古くからの文化が共存する美しい地、マドリッド州のプエブラ・デ・ラ・シエラは、ユネスコによって「生物圏保護区」に指定されています。

また、バジェ・デ・ロス・スエニョス財団が管理する“彫刻の森”があり、ここでは2年に一度、彫刻ビエンナーレを開催。これまでに入選した約50点の現代彫刻が野外設置 (永久展示) されています。

